

【昨日の市況概要】				公示仲値	154.97
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	154.66	1.0617	164.27	1.2737	0.6529
SYD-NY High	155.63	1.0655	164.80	1.2770	0.6545
SYD-NY Low	154.34	1.0556	163.64	1.2687	0.6481
NY 5:00 PM	155.50	1.0565	164.22	1.2709	0.6485
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,958.19	47.21	日本2年債	0.5200%	0.0200%
NASDAQ	19,230.73	▲ 50.68	日本10年債	1.0400%	0.0400%
S&P	5,985.38	1.39	米国2年債	4.2815%	▲0.0607%
日経平均	38,721.66	▲ 654.43	米国5年債	4.3021%	▲0.0123%
TOPIX	2,708.42	▲ 33.10	米国10年債	4.4502%	0.0217%
シカゴ日経先物	39,300.00	▲ 380.00	独10年債	2.3855%	0.0330%
ロンドンFT	8,030.33	4.56	英10年債	4.5200%	0.0210%
DAX	19,003.11	▲ 30.53	豪10年債	4.6800%	0.1160%
ハンセン指数	19,823.45	▲ 23.43	USDJPY 1M Vol	9.99%	▲0.39%
上海総合	3,439.28	17.31	USDJPY 3M Vol	10.51%	▲0.13%
NY金	2,586.50	▲ 19.80	USDJPY 6M Vol	10.45%	▲0.09%
WTI	68.43	0.31	USDJPY 1M 25RR	▲0.83%	Yen Call Over
CRB指数	280.28	0.89	EURJPY 3M Vol	9.72%	▲0.06%
ドルインデックス	106.48	0.46	EURJPY 6M Vol	9.85%	▲0.14%

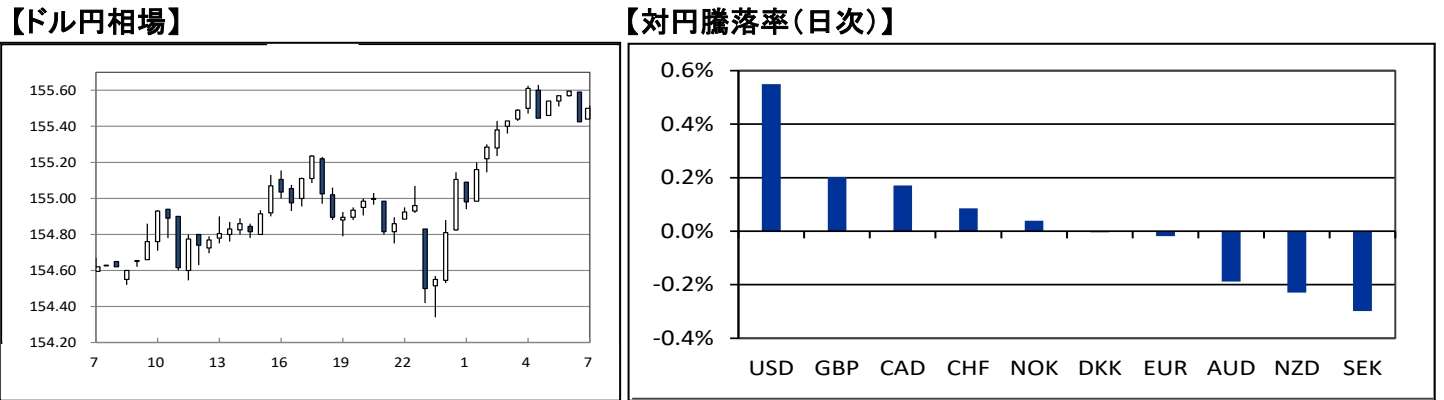
東京	東京時間のドル円は154.66レベルでオープン。仲値にかけて実需の買い主導により155円台を試す展開も、ドル人民元の売りに連れられて154.55まで下落。その後は本日発表の米CPI上振れへの警戒感からか米金利が上昇、ドル高基調となるなか取引時間終了間際に一気に155円を上抜けて153.13をつけ、155.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	米国時間に発表される米国CPI(10月)を控え、本日は比較的静かな中、アジア市場の流れを受けドルは全般的に強含んだ。米ドル円は7月以来初めて155円台でオープン。高値155.24を付けた後、日中はそれをやや下回り154.93レベルでニューヨークへ渡った。ドルは対ユーロでも堅調推移。1.0612レベルでオープン。ユーロは約1年ぶりの安値1.0595を付け、1.0631レベルでニューヨークへ渡立った。ユーロ・ストックスは再び売られ0.63%安。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。トランプトレードの再燃を背景とした米金利高の展開を受け、ドル円は底堅く推移し、一時155.24まで上昇。しかし、その後は為替介入への警戒感や、日本株が一段と下げ幅を拡大する動きを受け反落し、154.93レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米10月コアCPI(前月比)が予想程加速しなかった事を受け、次回FOMCでの利下げ観測が強まり、米金利の低下に売りが優勢となり、154.34まで下落。その後は売り一巡となり、155.20付近までじりじり戻す。午後は複数の報道機関が「共和党が下院で多数派を維持する見通し」との速報を受け、155.63まで上値を伸ばす。その後は買い一巡となり、155.50レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。米金利の上昇が上値を抑え、1.0595まで下落する場面もあったが、その後は反発し、1.0631レベルでNYオープン。午前中は先述の米CPIの結果を受け、ドル売りが優勢の中、1.0655まで反発。しかし、その後は米金利が下げ幅を縮小した動きを受け、1.0556まで反落。午後は1.0570付近を中心とした上値重い推移が続き、1.0565レベルでクロス。

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
11月13日	22:30	米	CPI (前月比)/(前年比)	10月	0.2%/2.6%	0.2%/2.6%

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
11月14日	09:30	豪	雇用者数変化	10月	25.0k	64.1k
	09:30	豪	失業率	10月	4.1%	4.1%
	19:00	欧	GDP(前期比)/(前年比) 速報	3Q	0.4%/0.9%	0.4%/0.9%
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	9月	-1.4%	1.8%
	22:30	米	PPI (前月比)/(前年比)	10月	0.2%/2.3%	0%/1.8%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	9-Nov	220k	221k
	23:00	米	バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-	-
11月15日	05:00	米	パウエルFRB議長 講演	-	-	-



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.50-157.00	1.0450-1.0600	163.50-165.00

【マーケット・インプレッション】
昨日のドル円は米CPIを警戒したドル買いが意識されてか東京時間に155円を突破。米10月CPIが発表されると12月FOMC会合での利下げ期待が高まり一時安値154.34まで下落も、売りは続かず。共和党が下院で過半数を確保との報道が出ると、トランプトレードが意識され7月下旬以来の高値155.63をつけ、結局155.50レベルでクローズ。米10月CPIは予想通りであり、市場では12月FOMC会合での25bpの利下げ織り込みを強める結果となった。ただし依然として2%を超える伸びを見せており、インフレとの闘いを終えたと解釈するのは楽観的な観測といえる。米ダラス連銀のローガン総裁の発言のように、今後もインフレ指標への注目は高く特に警戒されるのは利下げパスに影響を与える指標の上振れか。本日はPPIの発表を控えており、予想を上回れば利下げ期待の剥落とともに、上方向への値幅が出るだろう。一方で現状、7月下旬以来の高値水準を推移しており、日本サイドからの牽制発言にも警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。